

まちの日記帳



積丹の味 もっと味わって!

1/26・2/18

積丹観光協会（佐藤勝次会長）は、多くの方々に積丹自慢の鍋を味わってもらおうとさまざまなイベントに参加しています。

1月26日のオーストラリア建国記念日として、倶知安ひらふスキー場で開催されたフェスティバルに参加し、ソイ鍋200食が無料で振る舞われ、外国人スキーヤーはおいしそうに2杯、3杯とおかわりしていました。

2月18日は、小樽市で行われた後志魅力展に出店し、ホッケのすり身汁100食や水産加工品を販売、同時期に開催されている小樽雪あかりの路に訪れた多数の観光客からも大変好評を得ていました。



1/26 オーストラリアデーフェスティバル



2/18 後志魅力展

文化の違いを学ぶ

2/1

今年度5回目となるリフレッシュ学級が、町総合文化センターで行われました

今回は、14人が参加し、後志教育局に勤務している英語指導助手のガスタフ・フェルドマン氏（アメリカ）を講師に、両国の文化の違いなどについて講演をいただきました。

北海道の印象や生活様式でのギャップ、アメリカが抱えている現況問題などについてお話しをいただき、最後は、ギターの弾き語りにより、アメリカの歌を披露し、参加者にとって有意義な国際交流となったことと思います。



活力ある漁村づくりをめざして

2/15

第5回となる積丹町マリンビジョン検討協議会が、町総合文化センターで開かれました。

この日は、1月23日に行われた漁業者、農業・観光・商業者、教育関係者による産業別の3分科会で具体的な取り組みについての検討結果が、報告されました。

この報告に基づき、協議会出席者からは今後のまちづくりの方向性と展開について活発な意見交換が行われ、積丹地域マリンビジョンの骨子が確認されました。

3月中旬には、最終的な計画が提案される予定となっています。



赤鬼登場に園児大興奮！

2/2

びくに・みなと保育所で毎年恒例の節分祭が行われました。園児たちは、それぞれ思い思いの仮面を作り、その出来栄に満足気だったり、友達と比べたりとさまざま。その後、登場した赤鬼に本気になって豆をぶつかけたり、逃げ回ったりと大奮闘でした。中には、鬼につかまり泣き出してしまった園児もいました。最後には園児一人ひとりが赤鬼と「これからもよい子でいます。」と固い約束を交わしていました。



びくに保育所



みなと保育所

きびきびした行動にたのもしさ！

2/16

積丹消防団（細矢富雄団長）は、B & G海洋センターで消防団教育訓練を行いました。

これは、災害が発生し一刻を争う現場において、団員が統率のとれた迅速な行動をとれるよう毎年行っているもので、町内8分団から約50人の団員が参加しました。

また、訓練終了後には、団員の親睦を深めるため、バレーボール大会を開催し、アタックにブロックにハッスルプレーが続出していました。



くろねこ母さんと遊ぼう！

2/18

町教育委員会主催による親子ふれあい塾がB & G海洋センターで開かれました。

ふれあい塾は、図書コーナーの図書整理や絵本等の読み聞かせ活動を行っているボランティアグループのくろねこかあさん（的場静子代表）の皆さんを指導者に、町内から45人が参加しました。

図書コーナーにある絵本の中から、手作りマスコットによる人形劇「だんごどっこいしょ」や紙芝居「ちよとたのまれる王さま」の読み聞かせなどを披露した後、参加者みんなでボール転がしを行うなど参加者は楽しいひとときを過ごしました。

